SNS のテキスト分析による道徳的怒りと道徳的嫌悪の弁別性の検討

○小西直喜^{1,2} 大坪庸介¹

(1 神戸大学人文学研究科, 2 日本学術振興会)

Key words: 道徳感情, テキスト分析, 道徳基盤辞書

目 的

人は道徳違反を観察した際に、怒りや嫌悪感情を経験する。この道徳的怒りと道徳的嫌悪は異なる道徳領域の違反によって生起する、弁別可能な感情と考えられている (Rozin et al., 1999)。また近年の研究において、Konishi, Himichi, & Ohtsubo (in press) は、道徳的怒りと道徳的嫌悪は異なる自律神経系の活動を伴うことを示している。具体的には、道徳的な怒りが生起した際に、心拍数が上昇し、道徳的嫌悪の生起には心拍数の減少を伴うことが明らかとなっている。その一方で、これらの感情は同じ道徳領域から生起し、どちらも道徳的な非難の感情を表出する弁別不可能な感情とみなす向きもある (Cameron et al., 2007)。本研究では、ある大学の運動部の不祥事に対して、当該大学が設置した Facebook ページに投稿された非難コメントを収集・分析することによって、2つの道徳感情の弁別可能性を検討することを目的とした。

方 法

■非難コメントの収集：本研究で収集した非難コメントは、2018年5月に行われた大学対抗のアメリカンフットボールの試合でのある選手の反則行為が発端となり起こった一連の出来事に対するものであった。具体的には、大学対抗の試合にて、ある選手が無防備なクォーターバックに背後から危険なタックルを行った。その後、当該大学のコーチや監督がその選手に危険タックルを指示していたという報道がなされた。選手は会見を開き謝罪したが、監督らは反則行為への関与を否定した。このため、当該大学とアメフト部は非難の対象となった。本研究では、非難の対象となった当該大学が設置した Facebook ページに投稿されたコメント 573 件を収集した (収集期間：2018.5.08~2018.6.22)。コメントについて、表出感情のコーディングと道徳基盤辞書を用いた道徳単語の抽出を行い、表出感情と道徳基盤の関連を検討した。

■表出感情コーディング：収集した 573 件のコメントに表出された感情について、仮説を知らない3名がコーディング作業を行った。評定者、投稿されたコメントに怒り感情や嫌悪感情、軽蔑などが含まれているかを評定した。また、コメントの投稿者の要求や行動を評定する項目として、当該大学の廃校、アメフト部の廃部、謝罪の要求・入学や関わりの拒否などを設け、該当する項目がコメントに含まれるかどうかについて評定が行われた。3名の評定者の意見が一致しない場合は多数派 (2名) の回答を採用し、分析に用いた。

■道徳単語の抽出：日本語版道徳基盤辞書 (Matsuo et al., 2019) を用いて、抽出を行った。道徳基盤辞書 (moral foundation dictionary) とは、Graham et al. (2011) によって作成され、道徳基盤理論に基づく5つの基盤に関連する単語を収録したものである。本研究では、Matsuo et al. (2019) によって開発された日本語版道徳基盤辞書 (J-MFD) を用いた。J-MFD には、5つの基盤に関連する741の単語が収録されている。例えば、危害に関連する単語として「守る」、「安全」などが含まれており、純潔に関連する単語として「嫌悪」、「不貞」などが含まれている。本研究では、J-MFD に収録されている単語が各コメントに含まれている数を抽出し、各道徳基盤ごとに集計を行った。

結 果

本研究の目的は、SNS に投稿されたコメントの内容によって道徳的怒りと道徳的嫌悪の弁別可能性を検討することであった。まず、コメントに含まれる道徳単語の数が各道徳感情の表出を予測するかロジスティック回帰分析を行った。その結果、各コメントに含まれる道徳単語について、公平さ ($\beta = .85, p < .001$)、忠誠 ($\beta = .32, p < .01$)、権威 ($\beta = .23, p < .001$) に関わる単語の数が各コメントの表出する怒り感情を有意に予測していた。よって、公平さ (e.g., 誠実, 正直) や忠誠 (e.g., 社会, 会, 幹部) や権威 (e.g., 監督, 管理, 指導) に関わる単語が多く含まれている時、怒り感情を表出するコメントであると判断されることが示された。その一方で、純潔に関連する単語の数のみが各コメントの表出する嫌悪感情を有意に予測していた ($\beta = .86, p < .001$)。これは、純潔に関連する単語 (e.g., 見苦しい, 罪, 誠実) の数が増加するほど、嫌悪感情を表出するコメントであると判断されることを示している。また、各道徳感情が各コメントに含まれる要求や行動について関連があるかロジスティック回帰分析を行った。その結果、怒り感情のみが、当該大学の廃校 ($\beta = 2.94, p < .001$)、当該チームの廃部 ($\beta = 2.53, p < .001$) を正に予測していた。

考 察

本研究の目的は、SNS に投稿された非難のコメントをテキスト分析を行うことによって、道徳的怒りと道徳的嫌悪の弁別可能性の検討を行うことであった。結果から、道徳的怒りは公平性、内集団への忠誠、権威に関する道徳的な単語と関連が見られた。また、道徳的嫌悪に関しては、純潔に関する道徳的単語との関連が見られた。本研究の結果より、異なる道徳感情を表出するコメントには異なる道徳領域に関する単語が含まれていた。また、道徳的怒りに関しては、大学の廃校や部活動の廃部を含む内容との関連が見られた。これは、道徳的怒りが直接的な罰を動機づけることを示した知見と一致している (Molho et al., 2017)。よって、道徳的怒りと道徳的嫌悪は異なる道徳領域と関連する、弁別可能な2つの感情であることが示唆された。

引用文献(1) Cameron, C. D., Lindquist, K. A., & Gray, K. (2015). A constructionist review of morality and emotions: No evidence for specific links between moral content and discrete emotions. *Personality and Social Psychology Review*, 19, 371–394.; (2) Konishi, N., Himichi, T., & Ohtsubo, Y. (in press). Heart rate reveals the difference between disgust and anger in the domain of morality. *Evolutionary Behavioral Sciences*.; (3) Matsuo, A., Sasahara, K., Taguchi, Y., & Karasawa, M. (2019). Development and validation of the Japanese Moral Foundations Dictionary. *PloS one*, 14(3), e0213343. (4) Molho, C., Tybur, J. M., Güler, E., Balliet, D., & Hofmann, W. (2017). Disgust and anger relate to different aggressive responses to moral violations. *Psychological Science*, 28, 609–619.; (5) Rozin, P., Lowery, L., Imada, S., & Haidt, J., P. (1999). The CAD Trial Hypothesis: A Mapping Between Three Moral Emotions and Three Moral Codes. *Journal of Personality and Social Psychology*, 76, 574–586.

(Naoki KONISHI, Yohsuke OHTSUBO)